

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
662	662	収穫まつり開催事業	01	01	一般会計
			06	06	農林業費
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	01	01	農業費
			03	03	農業振興費
担当部課名	大山田支所 産業建設課		101	101	農業振興経費
作成者氏名	廣田 稔	連絡先	47-1157	03	収穫まつり開催事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	伊賀市と他地域との交流を目的、大山田地域の秋祭りの伝統を受け継ぎ生産者を中心に秋の収穫の喜びを分かち合い、地域子供から老人までが集う世代間交流の場として、住民参加型のイベントを実施するため大山田収穫まつり実行委員会へ業務委託	地場産品のPR、販売促進を行う。イベント開催により、地域活性化を促進する。				
本年度事業内容	実施予定日 平成18年11月5日(日)(予定) 会場大山田海洋センター駐車場					
	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	3,103	3,000	3,000
委託料	3,103	3,000	3,000
その他			
合計(A+B)	3,823	3,720	3,720
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,823	3,720	3,720
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
集客人数	千人	5	6	6			
参加団体数	数	45	50	50			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
集客人数	集客数により指標設定をすることにより目標達成が把握できる	千人	5 目標 (6)	6	6
参加団体数	参加団体数により指標設定をすることにより目標達成が把握できる	数	45 目標 (50)	50	50

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併までは大山田村の祭りであるが、今後は、伊賀市全域を代表するのひとつの祭りとしていかなければならない
---

評価	必要性	3	拡大 伊賀市のなかで代表とするひとつの祭りにする方向性を見出さなければならない	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	3		